

ABC

第 83 期 事業のご報告

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

INDEX

□ ごあいさつ	1	□ 連結財務諸表	8
□ テレビ	3	□ 個別財務諸表	10
□ ラジオ	5	□ 会社データ	11
□ その他事業	6	□ お知らせ	12

朝日放送株式会社
証券コード：9405

ごあいさつ Message from the President



代表取締役社長 渡辺 克信

朝日放送信条

- 一、平和と自由の精神を貫き、地域社会と文化の向上につくす。
- 一、進歩と寛容の理念により、品位と責任を重んじ、社会の信頼にこたえる。
- 一、報道と評論は常に中正な立場に立つて、真実を正しく敏速に伝える。
- 一、番組は良識と知性を高めつつ、楽しさとやすらぎを与える。
- 一、広告は誇張を排し、清新な創意によって産業の発展を期する。

- 正しい報道 Accurate information
- 美しい表現 Beautiful expression
- 楽しい番組 Cheerful programs

株主の皆様方には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度、第83期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の事業のご報告がまとまりましたので、お届けいたします。

当連結会計年度のわが国経済は、アジア地域を中心とした海外経済の回復に伴い輸出が増加し企業収益が改善するなど、景気の着実な持ち直しがみられました。しかし、厳しい雇用情勢を背景とした消費者マインドの冷え込みで個人消費は低調に推移し、先行きについても海外経済の下振れリスクやデフレの影響など不透明感が残りました。

こうした経済環境は、当社グループが主力事業を展開する放送業界にも影響を与え、テレビ・ラジオ媒体に対する広告出稿量が前連結会計年度の実績を下回るなど、営業面での厳しい状況が続きました。

放送事業におけるテレビ部門では関西地区の年度視聴率が全日、プライム、プライム2の時間帯で首位となる「三冠」を3連結会計年度連続で達成。好調な視聴率を背景に積極的な営業活動を展開しましたが、先行きが不透明な景況を反映し、全体では厳しい収益状況となりました。ラジオ部門においては、次代を視野に入れた大きな改革に着手し、制作部門の関連会社移管やタイムテーブル全体の45%に及ぶ改編を実施するなど収支の改善を目指しました。テレビ・ラジオ以外の売上では、アニメ「プリキュア」シリーズなどの著作権収入やドラマのDVD販売収入などが堅調に推移しましたが、景況を反映して通販収入は減収となりました。この結果、放送事業の売上高は669億7千8百万円(前期比4.9%減)となりました。

次に、ハウジング事業では、景気の低迷による住宅需要の回復が遅れるなか、主力の住宅展示場運営において出展メーカーの撤退などもあり、売上高は82億1千5百万円(同7.5%減)となりました。また、ゴルフ事業では、景気低迷で厳しい営業環境が続いたことに加え、新型インフルエンザ集団感染の発生による予約キャンセルが相次いだことなど

もあり入場者数が減少し、売上高は8億7千4百万円(同7.4%減)となりました。

以上の結果、当社グループの連結売上高は主力の放送事業の減収を反映し、760億6千8百万円(同5.3%減)となりました。

一方、費用面においては番組編成の見直しなどによる費用の効率化で売上原価が減少し511億2百万円(同7.0%減)となったほか、販売費及び一般管理費についても業務改善によるコスト圧縮や、前連結会計年度に発生した新社屋移転に伴う一時費用も減少した結果226億4千5百万円(同11.2%減)となりました。この結果、当社グループの営業利益は23億2千万円で25億円の増益、経常利益は24億4千6百万円で25億9千7百万円の増益、当期純利益も16億1千3百万円で41億5千3百万円の増益となりました。なお、前連結会計年度に連結子会社としたCS委託放送事業の株式会社スカイ・エーは、厳しい景況にもかかわらず当連結会計年度は増収増益となり、創業20周年の節目を前に累積欠損を解消するにいたりました。

当社単独の業績といたしましては、売上高は641億5千1百万円(同5.0%減)となりました。テレビ放送事業収入は558億9千3百万円(同4.4%減)となりました。景気低迷による番組セールスの不振や、業界全体に対するスポット出稿量が減少したため減収となりましたが、スポットについては景気動向と連動して第3四半期以降に

持ち直した結果、前事業年度の実績に迫る売上げを確保しております。ラジオ放送事業収入は28億7千4百万円(同16.0%減)となりました。テレビ・ラジオ放送事業以外の収入は53億8千2百万円(同4.4%減)となりました。事業全体では減収となったものの、費用面では全社を挙げて業務改善に努めた結果、営業利益は13億9千9百万円となり前事業年度と比べ25億5千万円の増益、経常利益は13億6千3百万円で25億6千4百万円の増益となりました。これに特別損益等を加減した結果、当期純利益は11億1千1百万円となり39億5千1百万円の増益となりました。

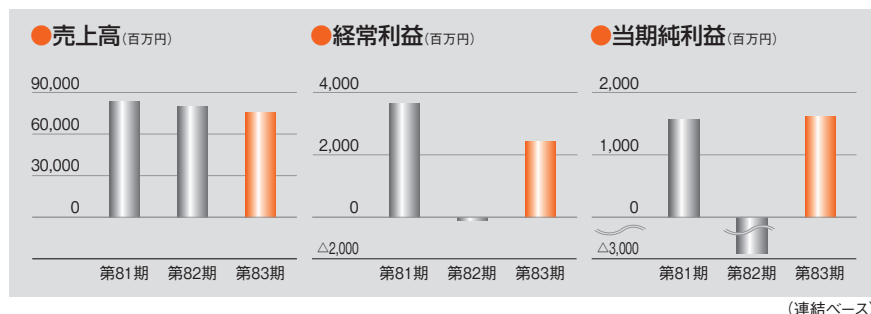
当社は、昨年来、グループ一丸となって業績回復に徹底した取り組みを行ってまいりました。幸い、この平成22年3月期は一定の業績回復をご報告させていただくことができました。これもひとえに、皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。

平成23年、当社は創立60周年を迎えます。今年11月から平成24年3月末までの60周年記念期間、特別番組やイベント等を通じ感謝の気持ちをお伝えしてまいります。「次世代の」強力な創造集団」を目指しチャレンジを続ける朝日放送グループに、なにとぞ倍旧のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成22年6月

代表取締役社長

渡辺克信



全日、プライム、プライム2で 3期連続の三冠!

当期の視聴率は、全日が5年連続の首位、プライムも3年連続の首位、プライム2も8年連続の首位を獲得しました。その結果、全日、プライム、プライム2帯における三冠を3期連続で達成しました。このほか、ゴールデンも12.8%で2位を確保し、各時間帯とも視聴者の皆様から安定した支持をいただきました。

●平均視聴率(平成21年4月～平成22年3月)

全日 (午前6時～午前0時)	8.8%	首位 (5年連続)
プライム (午後7時～午後11時)	14.0%	首位 (3年連続)
プライム2 (午後11時～午前1時)	10.2%	首位 (8年連続)
ゴールデン (午後7時～午後10時)	12.8%	2位

●ネット番組

当社発のネット番組では、火曜日夜8時の「最終警告! たけしの本当は怖い家庭の医学」を今年1月から「たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学」としてリニューアルし、平均視聴率は11.9%と好調を維持しています。また、去年4月にスタートした日曜日夜8時の「大改造!! 劇的ビフォーアフター SEASONⅡ」も平均視聴率が13.1%と好調です。テレビ朝日と共同制作の金曜日夜9時のドラマ枠は4年目に入りましたが、去年1月クールと4月クールに放送した「必殺仕事人2009」の全22話の平均視聴率が16.1%を記録しました。そのほか単発番組では、年末恒例となった漫才日本一を決める「M-1グランプリ」が、4年連続の30%超えとなる、30.3%の高視聴率を記録しました。

●ローカル番組

ローカル番組では、朝帯、深夜帯を中心にベルト番組が好調で、視聴者の皆様から非常に安定した支持を得ていま

たけしの健康エンターテインメント



毎週火曜 午後8時～



毎週日曜 午後7時58分～



2009年優勝はバンクブーブー

す。当期の平均視聴率は、「おはようコールABC」の午前6時からの第2部が6.5%と、平成7年10月の番組開始以来、自己ベストを記録しました。

また、「おはよう朝日です」も11.9%と高視聴率を維持しています。深夜帯の「ナイトinナイト」(月～木)は12.0%、そして金曜日深夜の「探偵! ナイトスcoop」は20.1%と好調で、5年連続の全日視聴率首位獲得に大きく貢献しています。

●スポーツ番組

スポーツ番組では、浅田真央選手などが活躍した「フィギュアスケートグランプリシリーズ」が23.3%を記録するなど、大型スポーツ番組が好調です。また、高い人気を維持している阪神タイガース主催のナイター中継は15試合放送し、平均視聴率は14.6%と高い水準で推移しました。

●全社的项目

このほか、全社を挙げて積極的に取り組んでいる地球環

境問題をテーマにした年1回の特別番組「ガラスの地球を救え スペシャル」は当期で7年目となりました。日本全国で環境の再生、自然の保護に取り組む人たちを紹介するとともに、大阪湾からの生中継を交え、身近に迫る環境の危機と再生について考えました。

また、平成19年に立ち上げた、いじめ、虐待など、子どもを巡る問題に正面から向き合い、子どもの未来について考えるキャンペーン「ABC子ども未来プロジェクト」関連では、去年3月からミニベルト番組「がんばれ! 元氣ッス」を放送しているほか、9月に特別番組を1本、3月にはミニベルト番組「えほんよんで!」を放送しました。

そのほか、コンクール関連では、当期の日本民間放送連盟賞の番組部門テレビエンターテインメント番組において「探偵! ナイトスcoop グランドアカデミー大賞」が、技術部門において「照明専用CADと連動可能な調光システム」がそれぞれ優秀賞を受けました。

※視聴率は関西地区、ビデオリサーチ調べ



「ナイト in ナイト」 毎週月～木曜 午後11時17分～



昨年4月 放送 「ガラスの地球を救え スペシャル」



「探偵!ナイトスcoop グランドアカデミー大賞」

当期のABCラジオは、将来に向けた変革の年となりました。

7月には全放送時間の45%を超える大幅な改編を行いました。その柱となったのが午前9時からのワイド番組「ドッキリ!ハッキリ!三代澤康司です」(月～金)です。三代澤アナが、日替わりで出演する5人の女性パートナーとともに、ABC篠山マラソンに参加したり、シンフォニーホールでのクラシックコンサートをナビゲートしたり、様々なことに挑戦しています。

このほか、土曜日 午前7時からの「ようこそ!伊藤史隆です」では、スポーツ実況で定評のある伊藤アナを起用。充実したスポーツ情報はもちろんのこと、どこにでも出かけて何でも実況する「出前実況」のコーナーなど、リスナーの方々と触れ合える企画を盛り込んで放送しています。

そして、10月には「永尾光湖のおはようパートナー」(月～金 午前5時～)として、早朝の顔がリニューアルしました。最新のヒット曲から、懐メロ・演歌・童謡までの幅広い音楽と、朝一番のニュース・お天気・季節の話題・身近なお得情報などをさわやかにお届けしています。

放送に関連した事業にも積極的に取り組んでいます。毎年11月の「ABCラジオまつり」、3月の「スプリングフェスタ」で

は、例年たくさんリスナーの皆様に来ていただいておりますが、今年の「スプリングフェスタ2010」では入場者数が7万1,000人を超え、これまでの最高となりました。

また、「おはようパーソナリティ 道上洋三です」(月～金 午前6時半～)から生まれたレトルトのカレー、「おはパソカレー」(「嗚呼 昭和ビーフカレー」と「新妻 ドキドキキーマカレー」の2食セット)は発売初日に4万個近くを売り上げるなど当初の予想をはるかに上回り、今年3月末での販売個数は14万2千個を超えています。



スプリングフェスタ 2010



おはパソカレー

ドッキリ!ハッキリ!
三代澤康司です



毎週月～金曜 午前9時～午後12時

永尾光湖の
おはようパートナー



毎週月～金曜 午前5時～6時半

その他事業 EVENT etc.

3月15日からは、在阪ラジオ6局、在京ラジオ7局で、パソコンでラジオが聴けるIPサイマルラジオ(ラジコ)の実用化試験配信が始まりました。配信当初から予想を上回る反響があり、ABCラジオのホームページへのアクセス数も大幅に増えています。今後、インターネットを利用した新たなビジネスモデルの構築にも取り組んでまいります。

パソコンでラジオが聴ける! **radiko.jp**
ネットにつながば、いつでもどこでも **now on air!**

お手持ちのパソコンでABCラジオが聴けます。

ABCラジオのホームページからどうぞ。

(または、ラジコ専用ホームページ <http://radiko.jp>)

試験配信地域：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県

試験配信期間：平成22年8月31日まで(予定)



ABC radio

1008 kHz

● イベント事業

事業イベントでは、8月に開催したブロードウェイ・ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」が、ほぼ完売の大盛況となりました。また、同じ8月には恒例の西日本最大級のロックフェスティバル「SUMMER SONIC 09」を開催。過去最高の8万8,000人のファンを集めました。9月にはミュージカル「アイーダ」が、2月にはブロードウェイ・ミュージカル「キャバレー」が大成功を収めました。

スポーツイベントでは、秋に「マイナビABCチャンピオンシップゴルフトーナメント」を開催。石川遼選手の2年連続優勝はなりませんでしたが、2万7,000人近いギャラリーが詰め掛けました。



「ウエストサイドストーリー」



「アイーダ」



「マイナビABCチャンピオンシップゴルフトーナメント」

ABCホールは、関西の劇団等から高い評価を得ているほか、ABC自主公演の舞台やコンサートも上演し、8割という高い稼働率となっています。

出資映画では、「重力ピエロ」、「BALLAD—名もなき恋のうた—」、「ゼロの焦点」、「おとうと」、アニメ「プリキュア」シリーズ等、良質な作品に出資し、好評を博しています。

●シンフォニーホール

クラシック音楽関係では、マウリツィオ・ポリーニや五嶋龍のコンサート、草刈民代の引退公演や、キエフ・バレエ、レニングラード国立歌劇場オペラなどを上演。また、ブルガリアから自主招聘したソフィア・ゾリステン「名曲の花束」全国ツアーも大成功を収めました。



「キエフ・バレエ」

「おはよう朝日です」の本
「M-1グランプリ 2009」
公式ガイドブック



DVDセールスも好調



プリキュア花壇

●コンテンツ事業

有料携帯サイトは、会員数が前年比(3月末現在)で8%増加しました。高校野球の「あの名勝負を再び」、「熱闘甲子園ダイジェスト」や、「M-1グランプリ2009」などの動画の配信、「家庭の医学」の健康調理メニューの配信などがきっかけで会員数を伸ばしました。また、2月にスタートしたアニメ「プリキュア」の新シリーズ「ハートキャッチプリキュア!」では、携帯サイトと番組ホームページで「プリキュア花壇」という自分の花壇に番組と連動して花を咲かせていく企画を展開し、人気を呼んでいます。

番組の二次利用では、パチンコ台「ぱちんこ必殺仕事人III 祭バージョン」がヒット、「探偵!ナイトスクープ」、「熱闘甲子園」、「M-1グランプリ」などのDVDセールスも好成績を収めたほか、「おはよう朝日です」、「M-1公式ガイドブック」等のムック本も評判を呼びました。

また、「おはよう朝日です」番組開始30周年を記念して生まれた、おは朝パンもヒット。昨年12月に発売した「おき太君のみみパン」、「めざめちゃんのみみパン」、「おは朝食パン」の3種類が合わせて82万5,000個、2月に発売した「たまごぱん」が51万個の売り上げとなりました。

連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当 期 平成22年3月31日現在	前 期 平成21年3月31日現在	科目	当 期 平成22年3月31日現在	前 期 平成21年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	27,962	29,121	流動負債	12,492	13,493
現金及び預金	7,526	7,329	短期借入金	200	700
受取手形及び売掛金	11,732	11,496	1年内返済予定の長期借入金	2,030	3,190
有価証券	5,479	5,493	リース債務	867	841
たな卸資産	1,374	1,111	未払金	5,790	6,276
短期貸付金	17	19	未払費用	1,311	1,150
繰延税金資産	578	497	未払法人税等	290	104
その他の流動資産	1,275	3,181	役員賞与引当金	9	13
貸倒引当金	△ 22	△ 9	設備等支払手形	12	115
固定資産	66,958	66,843	その他の流動負債	1,981	1,102
有形固定資産	46,406	49,113	固定負債	27,728	29,319
建物及び構築物	24,115	24,951	長期借入金	2,030	2,060
機械装置及び運搬具	4,911	5,549	リース債務	5,642	6,523
工具器具及び備品	635	814	退職給付引当金	10,777	10,801
土地	10,568	10,644	廃棄物処理損失引当金	45	57
リース資産	6,068	6,935	負ののれん	345	516
建設仮勘定	107	218	預り保証金	8,452	8,763
無形固定資産	1,629	1,779	その他の固定負債	435	596
のれん	99	133	負債合計	40,220	42,812
ソフトウェア	1,322	1,549	(純資産の部)		
その他の無形固定資産	207	96	株主資本	51,128	49,891
投資その他の資産	18,922	15,950	資本金	5,299	5,299
投資有価証券	11,281	7,156	資本剰余金	3,610	3,610
長期貸付金	61	49	利益剰余金	42,218	40,981
長期前払費用	1,468	1,736	自己株式	△ 0	△ 0
繰延税金資産	4,509	5,389	評価・換算差額等	700	544
その他の投資	1,623	1,642	その他有価証券評価差額金	700	544
貸倒引当金	△ 22	△ 24	少数株主持分	2,872	2,717
資産合計	94,921	95,965	純資産合計	54,700	53,152
			負債・純資産合計	94,921	95,965

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
売上高	76,068	80,284
売上原価	51,102	54,970
売上総利益	24,965	25,314
販売費及び一般管理費	22,645	25,494
営業利益又は営業損失(△)	2,320	△ 179
営業外収益	397	460
営業外費用	271	431
経常利益又は経常損失(△)	2,446	△ 150
特別利益	615	69
特別損失	193	1,892
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	2,867	△ 1,974
法人税、住民税及び事業税	422	401
法人税等還付税額	△ 27	△ 203
法人税等調整額	693	179
少数株主利益	165	189
当期純利益又は当期純損失(△)	1,613	△ 2,540

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,626	2,229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,742	△ 5,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,936	△ 1,597
現金及び現金同等物の増減額	1,947	△ 4,942
現金及び現金同等物の期首残高	10,718	15,554
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	—	107
現金及び現金同等物の期末残高	12,666	10,718

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当 期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成21年3月31日残高	5,299	3,610	40,981	△ 0	49,891	544	544	2,717	53,152
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 376		△ 376				△ 376
当期純利益			1,613		1,613				1,613
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						155	155	155	310
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,236	—	1,236	155	155	155	1,547
平成22年3月31日残高	5,299	3,610	42,218	△ 0	51,128	700	700	2,872	54,700

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

個別財務諸表 Non-Consolidated Financial Statements

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	23,738	24,890
固定資産	55,291	55,077
有形固定資産	35,459	37,972
無形固定資産	1,498	1,612
投資その他の資産	18,332	15,493
資産合計	79,029	79,968
(負債の部)		
流動負債	11,025	11,831
固定負債	18,402	19,418
負債合計	29,428	31,249
(純資産の部)		
株主資本	48,905	48,170
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	39,995	39,260
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	696	548
その他有価証券評価差額金	696	548
純資産合計	49,601	48,718
負債・純資産合計	79,029	79,968

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで
売上高	64,151	67,517
売上原価	42,327	45,647
売上総利益	21,823	21,869
販売費及び一般管理費	20,423	23,020
営業利益又は営業損失(△)	1,399	△ 1,151
営業外収益	224	287
営業外費用	259	336
経常利益は経常損失(△)	1,363	△ 1,200
特別利益	588	81
特別損失	31	1,763
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	1,920	△ 2,882
法人税、住民税及び事業税	12	12
法人税等還付税額	—	△ 203
法人税等調整額	797	148
当期純利益又は当期純損失(△)	1,111	△ 2,839

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

株主資本等変動計算書

当 期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本									評価・換算差額等		純資産 合 計		
	資本金	資本剰余金				利 益 準 備 金	利益剰余金			自 己 株 式	株 主 合 計		評 価 ・ 換 算 差 額 合 計	
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計	利益剰余金									
					固 定 資 産 圧 縮 積 立 金		別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計					
平成21年3月31日残高	5,299	3,515	95	3,610	450	105	39,400	△ 694	39,260	△ 0	48,170	548	548	48,718
事業年度中の変動額														
剰余金の配当								△ 376	△ 376		△ 376			△ 376
当期純利益								1,111	1,111		1,111			1,111
別途積立金の取崩							△ 2,000	2,000	—		—			—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)												147	147	147
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	△ 2,000	2,734	734	—	734	147	147	882
平成22年3月31日残高	5,299	3,515	95	3,610	450	105	37,400	2,040	39,995	△ 0	48,905	696	696	49,601

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

会社データ Corporate Data

会社の概況 (平成22年3月31日現在)

会社名	朝日放送株式会社 Asahi Broadcasting Corporation
創立	昭和26年3月15日
資本金	52億9,980万円
従業員数	641名
事業内容	放送法および有線放送法による 一般放送事業 他
本社	〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号 Tel.(06)6458-5321(代表)

役員 (平成22年6月25日現在)

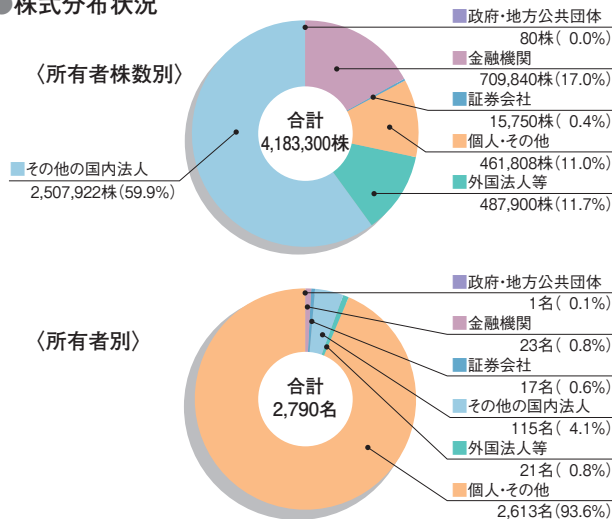
代表取締役社長	渡辺 克信	取締役	古川 賢三
代表取締役専務取締役	和田 省一	取締役	川村 恒雄
専務取締役	脇阪 聰史	取締役	渡辺興二郎
常務取締役	福田 正史	取締役	大塚 義文
常務取締役	田仲 拓二	常勤監査役	木下 栄一
取締役	領木新一郎	常勤監査役	山本 良生
取締役	脇 英太郎	監査役	白賀 洋平
取締役	山口 昌紀	監査役	橋本 宗利
取締役	坂井 信也	監査役	野村 正朗
取締役	早河 洋		
取締役	横井 正彦		

株式の概況 (平成22年3月31日現在)

●発行可能株式総数	14,400,000株
●発行済株式総数	4,183,300株
●株主数	2,790名
●大株主	

株主名	所有株式数	議決権比率
株式会社朝日新聞社	622,490株	14.9%
株式会社テレビ朝日	387,760	9.3
財団法人香雪美術館	293,000	7.0
MORGAN STANLEY & CO. INC	244,790	5.9
学校法人帝京大学	155,400	3.7
朝日新聞信用組合	150,000	3.6
日本生命保険相互会社	125,650	3.0
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	101,000	2.4
大阪瓦斯株式会社	85,500	2.0
近鉄バス株式会社	80,000	1.9

●株式分布状況



平成22年5月14日開催の当社取締役会において、株式の分割および単元株式数の変更に関し、下記のとおり決議いたしました。

記

I. 株式の分割

1. 平成22年7月1日付をもって、次のとおり普通株式1株を10株に分割する。
 - (1) 分割により増加する株式数 普通株式37,649,700株
 - (2) 分割の方法 平成22年6月30日最終の株主名簿に記録された株主の所有する普通株式を、1株につき10株の割合をもって分割する。
2. 発行可能株式総数 平成22年7月1日付をもって、当社定款第6条を変更し、発行可能株式総数を129,600,000株増加して、144,000,000株とする。
3. その他、この株式の分割に必要な事項は、今後開催される取締役会において決定する。

II. 単元株式数の変更

- I. の株式の分割の効力発生を条件として、平成22年7月1日付をもって、当社定款第8条につき、単元株式数を10株から100株に変更する。


以上

お知らせおよびご注意

1. 株式の分割後のご所有株式に関するご案内は、平成22年7月26日にお届出のご住所あてにご送付する予定です。
2. 平成22年7月1日付にて、株式の分割により増加した株式数が、お取引の証券会社等(特別口座の口座管理機関を含む)の振替口座簿に記録されます。



朝日放送のホームページ上に、株主の皆様に向けたIRサイトを設けています。最新のIRニュースをはじめ、決算情報のバックナンバーや株式情報など、さまざまな情報をご案内しています。

朝日放送ホームページのTOPページ下の  から、もしくは、<http://asahi.co.jp/info/ir/> でご覧ください。

TV プログラム TV program

大改造!! 劇的ビフォーアフター-SEASON II

毎週日曜 午後7時58分～8時54分放送



たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学

毎週火曜 午後8時～8時54分放送



ネット番組

©ABC・東映アニメーション



毎週日曜 午前8時30分～9時放送

ハートキャッチプリキュア!



毎週土曜 午前8時～9時30分放送

朝だ!生です旅サラダ

おはようコール ABC

毎週月曜～金曜 午前5時～6時45分放送



おはよう朝日です

毎週月曜～金曜 午前6時45分～8時放送



ローカル番組



毎週土曜 午前6時30分～8時放送

おはよう朝日 土曜日です



毎週月曜～金曜 午後4時50分～6時54分放送

NEWS ゆう+

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-176-417

(ホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
(<http://asahi.co.jp>)

<http://asahi.co.jp>

当社のホームページもご覧ください。

朝日放送株式会社

〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号
TEL 06-6458-5321 (代表)



この事業のご報告は、環境に配慮し、大豆インキをしようしております。